

資料 1

令和2年度 障害児通所支援事業所合同一斉研修 資料

学校との連携について

<内容>

1. 学校職員の窓口・役割
2. 障害のある子供たちの学びの場
3. 障害のある子供たちの学びの場の決定
4. 個別の教育支援計画と個別の指導計画
5. 放課後の引き渡し
6. 保育所等訪問支援
7. 連携の事例

1. 学校職員の窓口・役割

(1) 教頭…外部との連絡窓口

(2) 特別支援教育コーディネーター…関係機関との連携を主導

(3) 担任（通常の学級、特別支援学級）…保護者からの連絡や相談の窓口

※事業所の方との連絡・相談窓口 ⇒教頭 or 特別支援教育コーディネーター

2. 障害のある子供たちの学びの場

(1) 幼児の通級指導教室（すこやか保育の幼児は対象外）

(2) 小中学校

①通常の学級

②通級指導教室（拠点校、自校）

a 拠点校（エリアごとに各校から通う）

・そだちとこころの教室（情緒障害・発達障害）6教室

・きこえとことばの教室（言語障害・難聴・発達障害）8教室

b 自校（校内の教室に設置）

・現在、小学校に5校

・設置校数を毎年増やす計画

③特別支援学級（8人で1クラス）

- ・知的障害
- ・自閉症・情緒障害
- ・肢体不自由
- ・病弱・身体虚弱

※LD・ADHDは対象外…通常の学級に在籍し、通級指導教室に通う児童生徒もいる

☆原則として、医師の診断等障害があることの根拠が必要

（2）特別支援学校

①学部

- ・小学部・中学部・高等部（一部、幼稚部あり）

②障害種別

- ・知的障害
- ・肢体不自由（在宅訪問あり）
- ・視覚障害
- ・聴覚障害
- ・病弱（病院内・在宅訪問）

（3）高等学校の通級指導教室

※学びの場の詳細については、「神戸市 障害のある子供たちのための学校」で検索

3. 障害のある子供たちの学びの場の決定

（1）決定までの通常の流れ ※就学支援ガイド参照「神戸市 就学支援ガイド」で検索
小学校に連絡

↓

①学校見学

↓

②就学相談

↓

③学校→神戸市教育委員会で検討→学校

↓

④就学先の決定

(2) 保護者から相談されたら

- ・ 障害の状態や効果的な支援等が学校に伝わるようにサポートをお願いします。

- 「Aさんが安心して学んでいくためには～支援が効果的だと思います」
- 「Aさんに適した学びの場について学校と相談してください」
- × 「特別支援学級に入るべきですね」「通常の学級で絶対大丈夫ですよ」

学校や市教委の判断と異なった場合に、保護者を混乱させてしまう

4. 個別の教育支援計画と個別の指導計画

	個別の教育支援計画 (学びの支援ネットワークプラン(※1))	個別の指導計画
目的	・ 個々の児童生徒のニーズを把握し、学校卒業まで一貫して的確な教育的支援を行うこと	・ 個々の実態に応じて、指導目標、指導内容、指導方法を明確にして適切な指導を行うこと
主な内容	・ 本人・保護者の願い ・ 本人に必要な支援 ・ 支援を行っている関係機関等	・ 実態の把握 ・ 各授業における具体的な指導の計画（目標・手立て・評価）
作成	・ 学校が保護者等(※2)と連携して作成	・ 学校が作成

※1)神戸市では、「学びの支援ネットワークプラン」と呼び、共通の様式がある

※2)保護者だけでなく関係機関と情報共有して作成するのが望ましいが…

5. 放課後の引き渡し

- ・送迎車両の駐車
- ・その日の様子などの情報交換

名札、衣服などで、事業所の方であることがわかるようにしていただくと安心です



駐車スペースがなくて…
子供たちの動線になっていて…

引き渡す子供が多く、
一人一人話す時間がとれなくて…

- ・学校によって、敷地、児童生徒数等様々なので、各学校の実情に合わせた引き渡し方法について相談してください。

6. 保育所等訪問支援

(1) 学校等の意識と理解促進

- ・子供たちの安全と個人情報を守る責務があるため、外部の方に対して慎重
- ・教育委員会・福祉局が、学校の理解・協力を促進する必要あり
⇒学校向けの対応マニュアルを作成

(2) 事業所の方へのお願い

- ・保護者のニーズと学校等の考えを聞いて、三者で目的を共有
- ・学校への事前連絡について、保護者に依頼
- ・画像や動画の撮影は×
- ・学校から誓約書（確認書）の依頼

7. 連携の事例

(1) 就学前

- ・児童発達支援事業所からの子供の特性や効果的な支援の情報伝達
⇒入学後のスムーズなスタート

(2) 就学後

- ・指導や関わり方に特に配慮が必要な児童生徒についての情報共有
⇒互いに事情を理解し、今後のヒントに
引き渡しの仕方や今後想定される事態発生時の対応について共通理解